



# 声

## みんなのひろば



阪本京子  
(御来屋11区)

	子
	育
	て

最近、生後間もない赤ちゃんを  
当たり前のように保育所に預けて  
働く母親もいます。

国の政策もあり、またそれを選ぶ  
のは本人の意思ですから誰も何も  
言えません。

赤ちゃんの脳は未熟な状態で産

まれ、3歳までに半分が、残りの半  
分は思春期ごろ完熟すると言われ  
ています。3歳までにその子の人格  
が形成されるのです。五感を育てて  
やりなさいとよく言われます。

乳幼児期はしっかりと甘えさせて、  
自分の腕の中で抱きしめてやれば、  
安心して次のステップの友達と関係  
を築いていけるのです。そして、思  
春期にもその愛情は忘れないもの  
となり、その子の生きる力となりま  
す。成人した時は、親としての達成  
感につながります。



岡田亜由美  
(中林)

	信
	頼
	関
	係
	を
	築
	く
	た
	め
	に

児童館の職員として、日々子ども  
と関わる中で大切にしていること  
は、一人ひとりをよく見て、ありのま

まの子どもを肯定的に受け入  
れる(自己肯定感)、子どものありの  
ままを受け入れる(受容)、身体ごと  
耳を傾けて聞く(傾聴)、子どもがや

りたいこと、やりたくないことを決  
定させる(自己決定)です。

そうすることにより一人ひとりの  
信頼関係が生まれ、心を通わせる  
ことができるのではないかと思っ  
ています。

子どもたちが社会で幸せに生き

るために、さまざまな感動を体験さ  
せ、表現や伝える技術をきちんと身  
につけさせること。無限大の才能や  
可能性を引き出すこと。その手助け  
をするのが私たち児童厚生員の仕  
事だと思っています。子どもたちに  
幸せの種をまき、その子どもたちが  
いつかきれいな花を咲かせるまで温  
かく見守っていききたいと思いま



森田かすみ  
(香取上)

	『
	チ
	ャ
	レ
	ン
	ジ
	ド
	』
	と
	共
	に

チャレンジドール障害がありながら  
も生きることチャレンジし続ける  
人。

わが家の長男は今年小学6年生。  
知的障害があり、入学時から特別支  
援学級に在籍しています。学校の中  
で先生方や上級生のみなさん、そし

て、交流学級の仲間からの声かけ、  
励ましの言葉のおかげで、自分の力  
をつけてきました。地域の方からも  
「がんばってるなあ」と伝えてもら  
うと、本人も自信になり、私や家族に  
とっても支えとなっています。

信をつけてこれた6年間、親とし  
て、関わってくださった方々へ感謝  
の気持ちでいっぱいです。

チャレンジドールとして生きる息子  
に、これからも地域の方の温かい眼  
差しで光を当ててくだされば幸い  
です。

### あとがき

9月定例議会は、決算議  
会であった。違法性はない  
か、数字に誤りはないかな  
どの視点で審議した。

議員は足を運び、汗を流  
し、時には住民とともに涙  
を流す...そこが、まちづく  
りの原点である。

長く親しんできた町並  
みの風景が変わっていく。お  
じいさん、おばあさんが亡  
くなっていくのと同じよう  
にさびしい。心の記憶とい  
うのは生きるエネルギーで  
ある。

お互いの認め合いは、一  
人ひとり個性を生かす。助  
け合いは、一人ひとりのよ  
さを伸ばす。励まし合いは、  
一人ひとりを勇気づける。  
そうして、お互いに花ひら  
き人生は輝く。

そんな町でありたい。

西山富三郎

#### 【発行責任者】

議長 野口 俊明

#### 【広報委員会】

- 委員長 竹口 大紀
- 副委員長 大森 正治
- 委員 西山富三郎
- 委員 池田 満正
- 委員 杉谷 洋一
- 委員 米本 隆記